

2019年9月4日

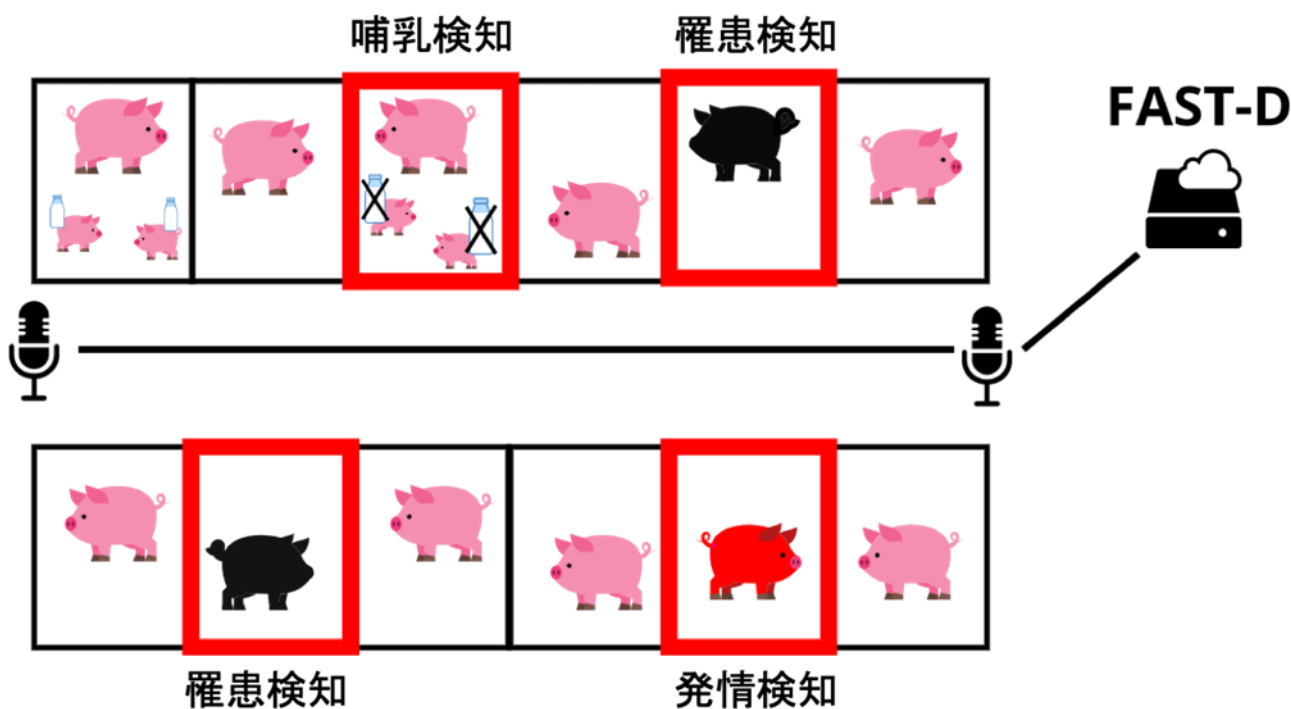
Hmcomm および宮崎大学との共同研究について  
～豚の音声検知システムの開発を目指す～

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁、以下「当社」）はこのたび Hmcomm 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三本 幸司、以下「Hmcomm」）および宮崎大学（所在地：宮崎県宮崎市、学長：池ノ上 克）と豚の音声を収集し健康状態や母豚の発情兆候や哺乳回数を検知するシステムの開発を目指して共同研究を開始することといたしましたのでお知らせします。

当社は2017年9月に先端技術・事業開発室内に未来市場グループを設置し、先進的な顧客ならびにパートナーと連携して新規事業を開拓し、10-20年後のMCHCグループのビジネスポートフォリオの拡大とグローバルなプレゼンスの強化に寄与することをミッションとしております。その中で将来予想される食糧難に向けて畜産分野における安全・安心を提供する様々なソリューション提案を目指しています。

Hmcomm は国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)発のベンチャー企業として、産総研独自の音声処理技術を用いた要素技術の研究／開発、ソリューション／サービスの提供を行っております。これまでも異音検知プラットフォームを活用した豚の健康管理に関する実証試験を実施するなど、音から価値を創出し、革新的サービスを提供することにより社会に貢献することを目指しています。



このたび開始する共同研究では、宮崎大学住吉フィールド及び南さつま農業協同組合加世田農場にて飼育する母豚や肥育豚の音声を収集し、Hmcommのディープラーニングによる異音検知プラットフォーム「FAST-D」(Flexible Anomaly Sound Training and Detection)を活用し、AIに学習させることで、熟練者と同等以上のレベルで「豚の呼吸器系疾病の兆しの早期検知」、「発情兆候の検知」並びに「哺乳回数測定」を行い、熟練者のノウハウの平準化を推進します。またこの音声検知システムを構築することにより、より少人数での効率的な畜産業務の実施が期待されます。

今後も当社グループは、持続的な社会の実現のため、人・社会・地球が抱える課題解決にむけてグループの総合力でソリューションを提案し社会に価値を提供し続けてまいります。

※ KAITEKIとは、「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」を表し、環境・社会課題の解決にとどまらず、社会そして地球の持続可能な発展に取り組むことを提案した当社グループオリジナルのコンセプトです。

#### 【国立大学法人宮崎大学について】

- 学校名 : 国立大学法人宮崎大学
- URL : <https://www.miyazaki-u.ac.jp/>
- 創立 : 1949年
- 所在地 : 宮崎県宮崎市学園木花台西 1-1

#### 【Hmcomm 株式会社について】

- 会社名 : Hmcomm 株式会社
- URL : <http://www.hmcom.co.jp/>
- 設立日 : 2012年7月24日
- 所在地 : 本社 東京都港区芝大門 2-11-1 富士ビル 2階  
熊本 AI ラボ 熊本県熊本市中央区水道町 7-16 富士水道町ビル 2階
- 事業内容 : 産総研発のベンチャー企業として、産総研独自の音声処理技術を基盤とした要素技術の研究／開発、ソリューション／サービスの提供を行っております。  
音声処理プラットフォーム「The Voice」と異音検知プラットフォーム「FAST-D」を基盤とし、「音から価値を創出し、革新的サービスを提供することにより社会に貢献する」を理念としています。

お問い合わせ先  
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室  
電話 : 03-6748-7140